



新たな「京都市動物園構想」



～いのちをつなぎ、いのちが輝く動物園～

アンケート用紙

現在、京都市動物園では、今後10年間の運営方針とする『新たな「京都市動物園構想」』の策定に向けて準備を進めています。構想の策定に当たっては、市民や関係団体の皆様から今の京都市動物園に対する思いや御意見をお聞きし、より良い構想を皆様と共に作り上げていきたいと考えております。そのためのアンケートに御協力いただければ幸いです。

■今後、京都市動物園が更に発展するために必要と思う取組は何ですか？

（全ての項目において複数回答が可能です）

1 野生動物を守る取組

（構想の柱1 生物多様性の保全に力強く貢献し日本をリードする動物園に関連）

- ☐ 飼育動物が心身ともに健康に暮らせるように、飼育環境を豊かにする工夫や試み
- ☐ 国際的な希少動物（アジアゾウ、ゴリラ、シマウマなど）の繁殖
- ☐ 国内の希少動物（ツシマヤマネコ、イチモンジタナゴなど）の繁殖と野生復帰

2 野生動物の研究について

（構想の柱2 野生動物の行動や生態、福祉を研究する世界水準の動物園に関連）

- ☐ 絶滅が危惧される希少動物の保全のための研究
- ☐ 飼育動物が心身ともに健康に暮らせるようになるための研究
- ☐ 京都大学などの学術機関との連携による研究
- ☐ 研究で得た成果の国内外への積極的な発信

3 環境教育をはじめとした教育について

（構想の柱3 文化教育施設として日本国内のオンリーワンを目指す動物園に関連）

- ☐ 生物多様性の啓発や地球温暖化対策などの環境教育の実践
- ☐ 京都府立植物園、京都水族館、京都市青少年科学センターとの連携強化による環境教育の実践
- ☐ 動物画の企画展など、文化を発信する場としての機能向上
- ☐ 学校向けの教育コンテンツの提供など、学校教育の素材としての動物園の活用

4 利便性について

（構想の柱4 多くの人が集い、多くの学びを広げる動物園に関連）

- ☐ 京都市の文化・観光拠点の1つである岡崎公園に立地していることを活かした、岡崎地域の周辺施設との連携
- ☐ 外国人観光客の利便性向上（園内掲示の多言語化等）
- ☐ 動物園のニュースやイベント情報を届けるための効果的な広報活動（SNSの活用など）

5 園内施設の充実や維持・管理について

（構想の柱5 「近くて楽しい動物園」の更なる発展に関連）

- ☐ 環境教育拠点としてリードするための、環境に配慮した「エコ・Zoo」の取組
- ☐ お年寄りから子供、障害のある方も利用しやすくするためのユニバーサルデザイン推進
- ☐ ショップグッズの充実など、顧客満足度の高いサービスの提供
- ☐ 市民ボランティアなど市民の協力による運営
- ☐ サポーター制度や市民参加型のイベントの充実など、市民及び企業との協働による運営
- ☐ より一層魅力的な展示設備にするための、サルワールドエリアをはじめとしたハード整備（建物のリニューアル）

■ これからの京都市動物園に期待すること、望むことがあれば教えてください。

※ 「〇〇の動物が見たい」、「〇〇のサービスが欲しい」など

■ その他、お気に入りの楽しみ方、こだわりポイントなど、誰かに知って欲しい京都市動物園の魅力があれば教えてください。

■ あなた自身のことについてお聞きします。

【お住まい】	☐ 京都市内（ 区）・ ☐ 京都府・ ☐ その他都道府県（ ）
【性別】	☐ 男・ ☐ 女・（ ）
【年齢】	☐ 20歳未満・ ☐ 20代・ ☐ 30代・ ☐ 40代・ ☐ 50代・ ☐ 60代・ ☐ 70歳以上
【京都市動物園への 来園頻度】	☐ 年に1回・ ☐ 年に2～3回・ ☐ 年に4回以上・ ☐ 子供の頃に行った程度・ ☐ まだ行ったことがない

ご協力ありがとうございました。これからも京都市動物園をよろしくお願いいたします。